

ノーベル化学賞受賞者 白川 英樹 博士による科学講義実施要項

○目的

- ・世界的に活躍する科学者から、実験を通じた科学の面白さや未知なるものへの挑戦などについての学びの重要性を学習する。
- ・生徒たちが好奇心を膨らませ、文系理系を問わずに、未知なるものへの挑戦や科学の面白さを学ぶ。

○開催日時

令和4年10月12日(水) 10:45～12:15 (90分)

講義約60分、質疑応答約30分



撮影菅野和彦

○講師

白川 英樹 氏 筑波大学名誉教授

「導電性高分子材料の開発」により、2000年ノーベル化学賞を受賞。プラスチックは電気を通さないという従来の常識を覆し、高分子科学に先例のない「導電性高分子」という新しい領域を開拓されました。

【略歴】

- | | |
|-------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1961 東京工業大学理学部化学工学科卒業 | 1983 高分子学会賞「ポリアセチレンに関する研究」 |
| 1966 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士、資源化学研究所助手 | 1999 高分子科学功績賞「導電性高分子の発見と開拓」 |
| 1976 米国ペンシルベニア大学博士研究員 | 2000 筑波大学退官 |
| 1979 筑波大学物質工学系助教授 | 2000 ノーベル化学賞受賞「導電性高分子の発見と開発」、文化勲章受賞 |
| 1982 筑波大学物質工学系教授 | |

○内容

テーマ「高分子合成を志して」

私の歩んだ道～子どものころに学んだこと・考えたこと～

○参加生徒

文理進学科1年生60名

○会場

敦賀高等学校 飛躍 (福井県敦賀市松葉町2-1)